

北海道で一番気持ちの良い季節は秋です。しかし、一瞬で長い冬が来るので、短い秋を楽しんでいます。

2年前に本州最北端の青森『大間崎』へ行き、本州最北端を制覇しました。そして今回は8月に北海道の最北端『宗谷岬』へ行って来ましたので、ご紹介いたします。

最北の宗谷岬のある稚内市は、札幌市内より350kmほど北にあり、高速道路も途中までしか通っていません。そのため途中から一般道を利用することになり、到着まで6時間程かかることとなります。

さすが最北なのか、当日は風が強く吹き、歩くのもままならない状況でした。天候が良ければサハリン島が見えるのですが、この日は見えませんでした。

寒すぎるので暖を取るためにホタテラーメンを食べ、暖まりました。稚内市へ向かい、稚内駅を見学すると駅前は賑やかで綺麗な駅舎には道の駅も併設されており、楽しむことが出来ました。鉄道もここ迄でするので、最北端の終着駅でもあります。

残す所は最西端の『せたな町』、最南端の『松前町』で函館方面となりますが、いつかチャレンジしたいと思っています。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

『杜の都』仙台。伊達政宗公が作った城下町仙台。木立美しく澄んだ雰囲気がある街並みに、いつも感動します。食もすばらしく、牛タンにずんだ、笹かまなど美味しくてうなるものばかりです。是非仙台へ行って欲しいなあと思います。

さて、仙台には通称『青葉城』と呼ばれる仙台城がありました。いまはなきその仙台城跡地には、青葉山公園という憩いの場が広がっています。今年4月、その玄関口に仙台の歴史や文化を発信する場所として『仙臺緑彩館』が開館していたので、行ってきました。

仙台藩重臣の片倉小十郎の屋敷跡地に当てられた建物は、とてもシャープで気品があります。外構などはまだ進行形でしたが、伊達政宗公の銅像も建てられており、仙台のシンボルとして十分に備えていると思いました。

ちなみに色々写真撮ったのですが、その中で伊達政宗公の有名な三日月の鍬形兜の先端にとんぼが止まっていることに気が付いたんです。自分でも良く見つけたなと思いましたが、何かとてもよい予感がしています。また仙台に行きたいと思っています。

東日本物流センター東日本営業本部(センター長:木下 敦裕)

KOYORAD

世界の拠点から
- From the base in the world -



突然のカミングアウトですが、実は私、過去一番太っているという大失態を犯してしまいました。猛暑日が続く中、軽登山を再開して無駄に運動を心掛けている今日この頃です。皆様いかがお過ごしでしょうか。並行して食事制限にも気を付けて参ります。

さて、8月は休日の度に、近隣の低山を調べては登っていました。今回は特に景観が素晴らしかった低山をご紹介します。場所は福岡県宗像市にある『城山(じょうやま)』です。宗像四塚連山の一つで、他には、『金山(かなやま)』、『孔大寺山(こだいしやま)』、『湯川山(ゆがわやま)』と縦走できる上、景観もとても良い、人気のスポットです。もちろん私は4つの山を縦走できるほどの体力を持ち合わせないため、城山のみ登山です。

しかしこの城山、距離自体は短いのですが、頂上に着くまでの半分以上が階段です。階段の上り下りは、通常の山道に比べて歩幅が制限されるため、足に負担が掛かります。以前のように、膝が生まれたての小鹿のように笑うことはなくなったものの、それでもきついことには変わりはありません(笑)。

ただ、当日は快晴ということもあり、頂上からは世界遺産の沖ノ島、反対方向では田川郡添田町の『英彦山(ひこさん)』まで見晴らすことができる最高の日でした。

またこちらでは黄色のキヌガサタケが生育している珍しい場所でもあります。あいにく時期はもう少し後ではあるため、また機会を見て登ってみようと思います。あとダイエットも頑張ります！

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

少しずつ秋が近づいてきていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は三重県桑名市の『ナガシマファーム』をご紹介します。

三重県桑名市と言えば、長島温泉、ナガシマスパランド、アウトレットのジャズドリームナガシマなど。ナガシマリゾートの各施設をご存じの方も多しと思います。私の場合は、ナガシマと言えばもっぱらアウトレットの買い物ばかりですが…。それらに隣接して2022年11月にオープンした施設がナガシマファームです。

約5.8haの土地を整えた農場で、1800本のオリーブを栽培しています。収穫した実からオリーブオイルなどを生産・販売、将来的にはオリーブの収穫体験ができるようになるそうです。また日本で唯一、樹齢2000年のオリーブの古木も間近で見ることができます。

他にはいちご園もあり、12月から5月の期間は、40分間いちご食べ放題のいちご狩りが体験できるようになっています。

ナガシマに温泉、遊園地、アウトレットなどで行かれた際には、ナガシマファームにも寄ってみてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

今年の夏は暑かったですね。マスク着用も自由となり、本格的にコロナ前に戻った感じです。

関西は今年も花火大会が多くありました。天神祭花火、びわ湖花火大会などなど。私の近場ではなにわ淀川花火大会が開催され、昨年はお酒の販売自粛など制限付きでしたが、今年は全てが解禁されました。

その影響もあり、有料観覧席や梅田スカイビル鑑賞特別プランなども早々と完売していました。会社近くの淀川からも見ることが出来るので、そちらへ行こうと準備をしていましたが、日が暮れても非常に蒸し暑く、トイレが近くに無いので水分を控えて熱中症になりそうだったため断念。近くのイオンの立体駐車場の屋上でも見られると思いましたが、花火の日は立ち入り制限が掛かって入れなくなっていたため、結局自宅でYouTubeから見ることになりました。

電気を消してTVで流すとその場で見ている雰囲気も味わえ、涼しくアルコールを堪能しながら観覧しました。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)

インドネシアでは最近ジャカルタの大気汚染について話題になっています。ジャカルタの大気汚染問題は、9月初めから急速に悪化しており、政府は住民に対し、マスクの着用を呼びかけました。

大気汚染の主な原因は車の排気ガスだと言われています。インドネシアでは、5~6年前から決められた日付、時間帯、ナンバープレートの末番によってメイン道路に入ることの出来る車を決めるという政策があります。これには渋滞を減らすことで、大気汚染を減らすという目的があります。ですが、汚染は改善されることなくひどくなる一方です。

ジャカルタ周辺にはたくさんの工場と、工場を稼働させるために必要な発電所が立ち並んでいます。発電所では、石炭を主な燃料として使用しており、大気汚染の一因となっています。そのため石炭の代わりとなる燃料がないか様々な意見が出ています。

現在のインドネシアは乾季でなかなか雨が降らない状況のため、雨季になれば今の大気汚染も少しは収まるのではないかとされています。

KJI(インドネシア)(工場長: S.Akhyar)

NIO、LiAuto、XPENG、BYD、これでお分かりの方はかなり中国の自動車通かもしれません。中国ではここ数年で電気自動車の普及が急速に広がっています。コロナ規制が明け、出張に来られる方も増えましたが、市内を走るEV車の多さに一様に驚かれます。

新車販売が毎月200万台を超える中国ではEVの比率がすでに30%を超えています。特に上海では50%を超え、街を走ると緑ナンバーの数に驚きます。KHEでもEV車に乗る社員がいますが、燃料費はガソリンよりも格段に安く、1kmあたり約1.5円です。

充電場所も自宅や公共施設、ショッピングセンターなど、市内では不自由しません。1回の充電で500km程度走行可能で市内の通勤、レジャーには支障なく使えます。スマホの専用のアプリで、離れた場所であっても通信回線を通じ、車の状態の確認や操作が可能です。位置確認や充電状態、タイヤの気圧、エアコンの起動、さらには充電時間の予約など便利機能満載のIoTです。

車内に忘れ物をした場合、車内カメラを起動し確認も可能です。どこかの女性とこっそり出かけると車内カメラを通じて浮気現場も発見、という話もあるそうです(笑)。2030年に全国新車販売のEV率40%の政府方針もかなり前倒しで達成されそうな見込みです。

KHE(中国・蘇州)(総経理: 山本 博史)

皆さまにこの便りが届く頃には、猛暑も少しは和らいでいるのでしょうか？やはり地球温暖化の影響は世界中に影響を与えているようですね。

先日、カリフォルニア州でもなんと84年ぶりにメキシコの太平洋側を北上した台風『ヒラリー』が上陸しました(実際は熱帯低気圧の通過でしたが)。これによりカリフォルニア州では、歴史上初めてとなる熱帯暴風雨警報が発令されました。幸いにも少し東部にずれたため、アーバインでは大雨にはなったものの大きな被害は出ませんでした。ですが、内陸のパームスプリングスやラスベガス付近では、半年分の雨が1日で降った事で洪水や土砂災害に見舞われ、各地で被害が報告されています。

またニュースでご存知の方も多いと思いますが、ハワイのマウイ島で大規模な山火事が発生し、こちらも大変な被害が出ています。各地から続く災害支援のひとつに、スパム(SPAM)を製造するアメリカ企業『ホームル』が、

救援物資としてスパムの缶詰を約27万個寄贈したという発表がありました。同社の支援総額は100万ドル以上になる模様です。スパムは冷蔵保存が不要で、被災者に贈るには最適の物資のひとつです。

スパムは戦時中に米軍兵士の兵糧として配られ、米軍の進出したヨーロッパやアジアで世界的に広まったとされています。中でもハワイ州では1人あたりの消費量が他州より多く、おむすびやサンドイッチ、レストランの朝食メニューにもあるスパムエッグだけでなくマクドナルドでもスパムバーガーが売られています。沖縄でもスパム入りゴーヤチャンプルーはポピュラーですよ！

勿論これ以外にも各地から支援が続いています。バイデン大統領も少し遅れましたが、現地に入り、支援を約束しました。一日も早い復興を願っています。

KCS(アメリカ)(COO: 坂垣 仁志)

『リベンジ旅行』すでに、この言葉を耳にしたことのある人もいないかもしれません。パンデミックの影響で、多くの人がほぼ3年間、旅行を自粛しなければなりませんでしたが、今では制限が解除され、自由に旅行ができるようになりました。

現在、経済の先行きが不透明であるにもかかわらず、シンガポールの多くの人はそのようなことは考えずに旅行の計画を立てているようです。

そのため、航空券の価格は引き続き高水準にあります。日本行きなどの人気路線の場合、通常の約2.5倍の料金がかかります。

この現象は、多くの国の旅行者に起こる可能性があり、非常に理に適っています。ただし、通常よりも高い料金を払って向かった目当ての観光地で混雑に巻き込まれるのは、良い思い出とは呼べないでしょう。

私個人としては、急いでトレンドに従うつもりはありません。むしろ、すべてが落ち着いてから旅行に行くかどうかを決めようと思っています。なぜなら、先行きが不透明な経済は非常に多くの障害が待ち構えており、今後数か月で事態が急速に変化する可能性があるからです。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

今年は気候変動のニュースをよく耳にしますが、自然災害は全て地球温暖化に関連して発生しています。私たち人間は多くのモノを消費し、地球温暖化への影響を与えているため、責任がないとは言えません。

現在の最大の問題は、どうすればこの状況を変えられるかということです。大きな変化を起こす意欲や余裕のある人は少なく、誰もが自分ではなく他人に変化を望んでいます。

一部の政治家は、今すぐ行動を起こさなければならないと叫びながら、高級車を運転し、パートナーと2人だけで住んでいる大きな家に帰ります。大企業は自社が環境に優しいと宣伝していますが、よく調べると、必ずしもそうではありません。

本当に現状を変えたいと願うのなら選択肢は一つしかありません。それは、一緒に行くことです。1人では変化を生み出すことはできませんが、10億人の国民なら大きな変化を生み出すきっかけになります。それと共に、実際の数字を把握してそれらをもとに計算する必要もあります。正確なデータを入手することで、本当の課題が分かり、解決策に取り組むことができます。

南極はかつて熱帯の島だったということを忘れないでください。母なる自然は私たちが想像するよりもはるかに強力で、何が起ころうとも何らかの変化は起こるでしょう。

見聞きするものには批判的でも、決して「変えられない」とは言わないでください。本当に望めば、素晴らしいことができるのです。1つしかない地球を大切にしましょう。

KIO(オランダ)(Ferri Visser)